

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			60㎡以上の指導訓練室スペースを設けている。集団活動と個別活動の場を十分に確保している。 ・ テーブルの数やレイアウトを活動に合わせて変えている。必要な場合には相談室も活用している。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			常時6～7人のスタッフで活動している。保育士、介護福祉士、児童指導員など有資格者を配置して児童指導員等加配加算Ⅰ（専門職員）をとっている。
	③	事業所設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			児童福祉施設の施設基準を満たしている。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			・午前中に管理者と児童発達支援管理責任者、児童指導員の打ち合わせで活動内容を話し合い目標設定をし、午後のミーティングで全スタッフで共有している。事前に予想できる個々の課題についても意見を出し合っている。 ・日々の振り返りを行い、次の活動の改善に活かしている。
	⑤	保護者等向け評価票を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			保護者向け評価表参考に、職員間で課題を共有し、改善に向け検討している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			・年に一回、年度のはじめにHPに掲載している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	
			職員の資質の向上を促すために、研修の機			

⑧	職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		<p>達の見立て（太田ステージ）を指導・支援に活かす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「『教育と福祉の連携研修』～切れ目のない支援を目指す～」 ・『家庭と教育と福祉の連携推進のためのシンポジウム』 ・CAP大人プログラム ・障害者虐待防止 権利擁護研修』 ・非常勤職員スキルアップ研修1 保護者支援 ・非常勤職員スキルアップ研修2 自立支援
⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		<p>連絡帳・個人面談・電話相談などで児童や保護者のニーズを把握し、個人記録・保育の記録・保育観察等に基づきアセスメントを行っている。計画の作成時には、スタッフがさまざまな視点で意見を出し合っている。</p>
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		<p>木子里グループ独自のアセスメントシート（発達領域別）を活用している。</p>
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・発案者の意見をもとに、活動の進め方や役割分担をスタッフで検討している。 ・子どもたちやご家族からリクエストやアイデアをいただくこともある。
⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返しの安心感と新たに挑戦するワクワク感のバランスを大切にしている。 ・曜日ごとの集団づくりに加え、中高生プログラムでは役割分担など一人ひとりのライフサイクルに合わせた活動を考えている。 ・今年度は休校対応として学習支援を導入した。

適切な支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・下校の早い日に就労を見据えた進路学習を行うなど、活動時間に合わせて達成感を持てる活動を考えている。 ・長期休業中には、プリント学習や数日かけて根気強くとりくむ課題も設けている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・活動の領域ごとに目標と手立てを検討して計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・管理者及び児童発達支援管理責任者、児童指導員が一日の活動及び送迎の確認をしている。 ・支援前の打ち合わせでは、非常勤スタッフを含め全員で再度確認し、一日の活動予定を共有している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎後、一日の活動で気になったことなど共有し保育の記録を残している。個人記録もとっている。振り返りが翌日になることもあるが、各自メモを残すなどしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 個人ノートに記録し、振り返りや検証を行いつつ以後の計画・支援の在り方を検討している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意向と記録に基づきモニタリングを行い、年2回（4月・10月）個別支援計画を作成している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・学齢期の児童のあそびと生活を通して行える自立支援につながる活動を検討し、一日のプログラムを作成している。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・関係機関と連携し、担当者会議には管理者、児童発達支援管理責任者が責任を持って参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・事務連絡にとどまらず、児童の成長発達の視点で日常的に連携していただける学校が増えている。
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		・現在該当する児童はいないが、必要な場合には体制を整えることができる。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・保護者の了解を得て、就学前の関係機関に保育観察にうかがい、情報共有と支援についてアドバイスをいただく場を設けた。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・移行前や移行後に連携している。卒所した保護者からの相談もある。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			*⑧参照
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか			○	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・協議会のとりくみは確認している。・こども部会定例会『通級教室について』参加。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・活動の様子を送迎時にお知らせしている。連絡帳を活用し、ご家庭との連携を大切にしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・ペアトレ研修を受講したスタッフが家庭内での対応についてアドバイスを行っている。 ・クエストでの成功事例などの共有もしている。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・必要に応じ、面談や電話相談を行っている。
	③⑫	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			速やかに事実確認を行い、誠意をもって対応している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月『KIKKORI通信』を発行し、翌月の予定のお知らせと保育報告を行っている。中高生プログラムなどの特別活動について、その都度実施の目的や行動予定の詳細を知らせしている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・個別に理解しやすい方法で伝えている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
非常時の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	現在、契約時に説明しているが、保護者に対して定期的にお知らせをすることが今後の課題である。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	○			・定期的に避難訓練を実施している。 ・災害時の備蓄をしている。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・障害者虐待防止 権利擁護のオンライン研修を職員全員で受講し、グループワークを行う等理解を深めた。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・（株）がくどう舎の身体拘束対応規定に基づき対応している。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・保護者より、検査結果を提出してもらい対応している。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット記録簿を設け、職員間で情報共有するとともに、改善策の検討を行っている。